

ボウジンテックス マークストップ



SELECT

汚染防止床用クリアトップ

鉛・クロムフリー

厚生労働省の室内空気汚染13物質無配合

工場床のフォークリフトのタイヤマークや廊下床等のヒールマークの付着による汚染を防止する目的で開発された、作業性の良好な溶剤系1液湿気硬化型ポリウレタン樹脂クリア塗料です。特に耐摩耗性、耐スリキズ性に富んだ樹脂を使用していますので、これら圧着等による汚染を防止します。

特長

F☆☆☆☆

ホルムアルデヒドの発散は少ない
建築基準法、建築材料の区分は
規制対象外となっている

1. フォークリフトなどの耐タイヤマーク性に優れる
2. ハイヒール、安全靴などの耐ヒールマーク性に優れる
3. 耐摩耗性、耐スリキズ性に優れ、床を保護する
4. コンクリート地肌の質感を生かすとともに耐摩耗性が向上
5. 1液型で使いやすい

PLACE



用途

1. 各種工場、倉庫等でフォークリフトが走行する床
2. 工場、廊下、ロビー、事務室等で耐スリキズ性や耐ヒールマーク性が要求される床

性能

試験項目	試験方法	結果
引っかき硬度 (鉛筆法)	JIS K 5600-5-4に準ずる。 すり傷	2H
耐摩耗性 (mg) (摩耗輪法)	JIS K 5600-5-9に準ずる。 摩耗輪CS-17荷重500g×2・1000回転	18±5
耐水性	JIS K 5600-6-1に準ずる。 水道水に7日間浸せき	異常なし
耐アルカリ性	JIS K 5600-6-1に準ずる。 炭酸ナトリウム5%水溶液に48時間浸せき	異常なし
耐酸性	JIS K 5600-6-1に準ずる。 硫酸5%水溶液に48時間浸せき	異常なし
耐温水性	50℃温水に48時間浸せき	異常なし
耐候性	屋外暴露1週間	黄褐色変
塗料の外観	—————	淡黄色クラー
ホルムアルデヒド放散量	JIS K 5970 デシケータ法	0.12mg/L以下 F☆☆☆☆

適応塗料

施工可能

- ボウジンテックス #2000
- ボウジンテックス エポワイド
- ボウジンテックス #8000
- ボウジンテックス #5000U
- ボウジンテックス #5000Uハードコート
- ボウジンテックス Uワイド
- ボウジンテックス マークストップ
- モルタル・コンクリート

施工不可

- 水系ボウジンテックス アルファ
- 水系ボウジンテックス E
- 水系ボウジンテックス U
- ボウジンテックス #1000
- ボウジンテックス #5400
- ボウジンテックス #5400N
- ボウジンテックス #7700
- ボウジンテックス #2700DG
- ボウジンテックス #2700EX
- ボウジンテックス #8700DL

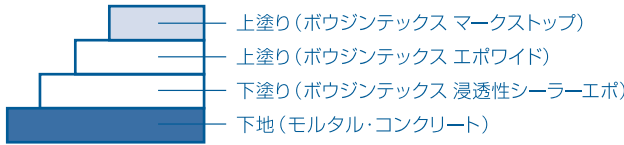
荷姿

上塗材

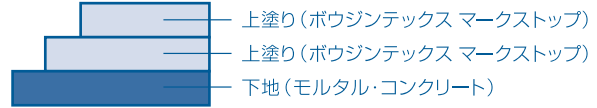
ボウジンテックス マークストップ……………16kg

塗装工程

● 適応塗料の場合 (例) ボウジンテックス エポワイド



● モルタル・コンクリート面



塗装仕様

● 適応塗料の場合 (例) ボウジンテックス エポワイド

工程	使用塗料	希釈割合 シンナー	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /缶セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔 (23℃)		
								工程内	工程間	歩行可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ（モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上）、表面層の水分率5%以下（デジタル水分計）とする。表面層にレイトンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ずポリリッシャー又はライナックス等でプライマーが含浸する下地面になるまで目粗しを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、十分乾燥させる。また、クラック・不陸等はプライマー工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填する。									
下塗り	ボウジンテックス 浸透性シーラーエポ 主剤10.5kg 硬化剤3.5kg フィラー2.5kg	—	ハケ ローラー	1	0.16~0.20 (フィラー含む)	83~103	1h以内	—	4h以上 48h以内	—
上塗り	ボウジンテックス エポワイド 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg	—	ハケ 短毛ローラー	1	0.5~0.8	ルールにより 18.8~30	30分以内	—	16h以上	—
トップ コート	ボウジンテックス マークストップ 16kg	既調合	ハケ ローラー	1	0.1~0.12	133~160	—	—	—	16h以上 完全硬化3日以上

※塗付量にはシンナーは含まれていません。塗付量は条件により増減します。

※シーラー塗装の際、すい込みがはげしい場合はフィラーなしの浸透性シーラーエポを再度塗装してください。

● モルタル・コンクリート面

工程	使用塗料	希釈割合 シンナー	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /缶セット)	塗装間隔 (23℃)			
							工程内	工程間	歩行可能	
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ（モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上）、表面層の水分率5%以下（デジタル水分計）とする。表面層にレイトンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ず小面積でテスト塗装を行い、ボウジンテックス マークストップが含浸する事を確認してから全面塗装をする。含浸が不十分な場合はポリリッシャー等で目荒しを行う。（目荒しの傷が残ることがあります。）既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、十分乾燥させる。									
上塗り	ボウジンテックス マークストップ 16kg	既調合	ハケ ローラー	2~(3)	0.1~0.14	57~80 (38)~(53)	3h以上 48h以内	—	—	16h以上 完全硬化3日以上

※塗付量は条件により増減します。また、クリーナー仕上げのためエポキシパテ等で充填した部分は目立ちます。

注意事項

【仕様全般】

- 気温5℃以下、相対湿度80%以上、降雨、降雪、結露が予想されるときは、硬化不良をおこすことがありますので施工を避けてください。
- モルタル・コンクリート養生後、多量の水がこぼれた箇所は1週間程十分に乾燥させてください。
- 塗装や塗料取り扱い時には、換気に気を付け火気厳禁としてください。また、溶剤中毒には十分注意してください。
- 換気が不十分である場合、乾燥が遅れるおそれがあります。
- 静電気をさらう床には塗装しないでください。
- 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質（VOC等）に過敏に反応される可能性がありますので、十分に注意してください。
- 塗装による臭気、近隣に迷惑を掛ける事がありますので、十分に配慮をお願いします。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

【塗料に関する注意】

- ボウジンテックス マークストップは耐候性に劣るため、屋外には使用できません。又、屋内であっても直射日光が当たる部位は黄変します。
- ボウジンテックス マークストップは湿気硬化型ウレタン樹脂ですから、空気中の湿気に触れると反応しますので、開缶後は速やかに使い切ってください。残塗料は開缶後保管しますと缶の中で徐々に増粘・ゲル化を生じます。
- 下地の吸い込みムラにより仕上がりに濡れ色の濃淡が生じることがあります。
- 塗装面に塗料溜まりやマジック跡等があるとクリーナー塗装した際、表面に浮き出てきたり、目立ちますので丁寧に除去してください。
- 使用前には十分攪拌してください。
- 溶剤系塗料は、溶剤の影響により内圧が上がっている可能性がありますので、開缶時は十分に気をつけてください。
- 材料の保管・取り扱いは消防法・労働安全衛生法に基づき十分な管理をお願いします。



水谷ペイント株式会社

大阪市淀川区西三国4丁目3-90 ☎06 (6391) 3151
東京・北関東・中部・大阪・広島・福岡・仙台・札幌
カタログ掲載の内容は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。